



NK、コンテナ船の規則改正対応システム公開

NK、コンテナ船の規則改正対応システム公開

日本海事協会（NK）は18日、コンテナ運搬船の構造強度要件に関する鋼船規則一部改正（2015年12月25日付）に対応した構造設計支援システム「PrimeShip-HULL for Container Carriers」を公開した。

調和共通構造規則（調和CSR）に対応した構造設計支援システム「PrimeShip-HULL(HCSR)」を基に開発され、コンテナ運搬船の構造設計をサポートするためNK顧客に無償提供される。主な特長は次のとおり。

▼縦強度要件に対応した算式計算ソフトは、コンテナ運搬船特有の雛壇構造を含む船体横断面の評価を迅速に行うことができる。貨物区域のほか機関区域、船首尾部の縦強度評価にも対応。

▼直接強度計算ソフトは、ホールド解析における降伏強度、座屈強度評価を効率的に行える。また、作業工数削減を目的とした感度解析を用いた補強案検討機能や、NAPA社の三次元船舶設計システム「NAPA Steel」とのデータ連携あり。

▼直接強度計算ソフトウェアは、ホッピング影響と海水圧、コンテナ荷重影響を考慮したNK独自の縦曲げ最終強度評価にも対応。

[記事一覧に戻る](#)

[この記事を印刷する](#)